

年代	時代区分	日本の主な出来事	甲賀郡に関連する出来事	貴生川遺跡調査成果		
				H25	H26. 8	H27. 1
300年		248年頃 卑弥呼死す 前方後円墳が各地にさかんに築造される 6C初 繼体大王即位				
400年	古墳	645年 大化の改新（乙巳の変） 667年 近江大津宮へ遷都	泉古墳群が造られる 植遺跡の集落が形成される	豊穴住居		
500年		710年 平城京へ遷都				
600年		794年 平安京へ遷都				
700年	飛鳥	1192年 源頼朝が征夷大將軍となる	742年 紫香楽に離宮を造る			
奈良		1336年 足利尊氏が征夷大將軍となる 1467年 応仁の乱が勃発 1568年 織田信長が上洛開始	886年 阿須波道が開かれる 春日北遺跡で綠釉陶器が焼かれる 1285年 最勝寺の宝塔が建てられる この頃、西福寺の宝篋印塔が建てられる	土壙墓・掘立柱建物（I期）		
800年	平安	1576年 安土城築城開始 1582年 本能寺の変 1584年 小牧・長久手の戦い	1570年 六角氏石部城に入城（元亀争乱） 1581年 織田信長の伊賀攻めに甲賀衆が参加			
1200年	鎌倉	1600年 関ヶ原の戦い	1585年 甲賀郡中惣解体 1600年 水口岡山城解体	区画溝・掘立柱建物（II期）		
1300年						
1400年	室町					
1500年	安土桃山					
1600年	江戸			城館		



貴生川遺跡発掘調査現地説明会資料 No.3

平成27(2015)年1月24日(土) / 甲賀市教育委員会
公益財団法人滋賀県文化財保護協会

調査の概要

公益財団法人滋賀県文化財保護協会では、甲賀市教育委員会からの依頼で土地区画整理事業に伴い、甲賀市水口町貴生川に所在する貴生川遺跡の発掘調査を平成25年度から実施しています。平成25年度調査では古墳時代の豊穴住居、平安時代末から鎌倉時代の掘立柱建物・土壙墓等を、今年度は8月に一辺半町（約50m）の堀と土塁で囲まれた、方形の戦国時代の城館がみつかり公開をしました。

今回は、平安時代末から室町時代にかけての溝で建物や屋敷地を区画する集落がみつかりました。



◆調査地南側全景（南より）

写真手前に掘立柱建物5～8、区画溝7～9、柵1～3がみえます。左奥にみえているのが岩根山です。



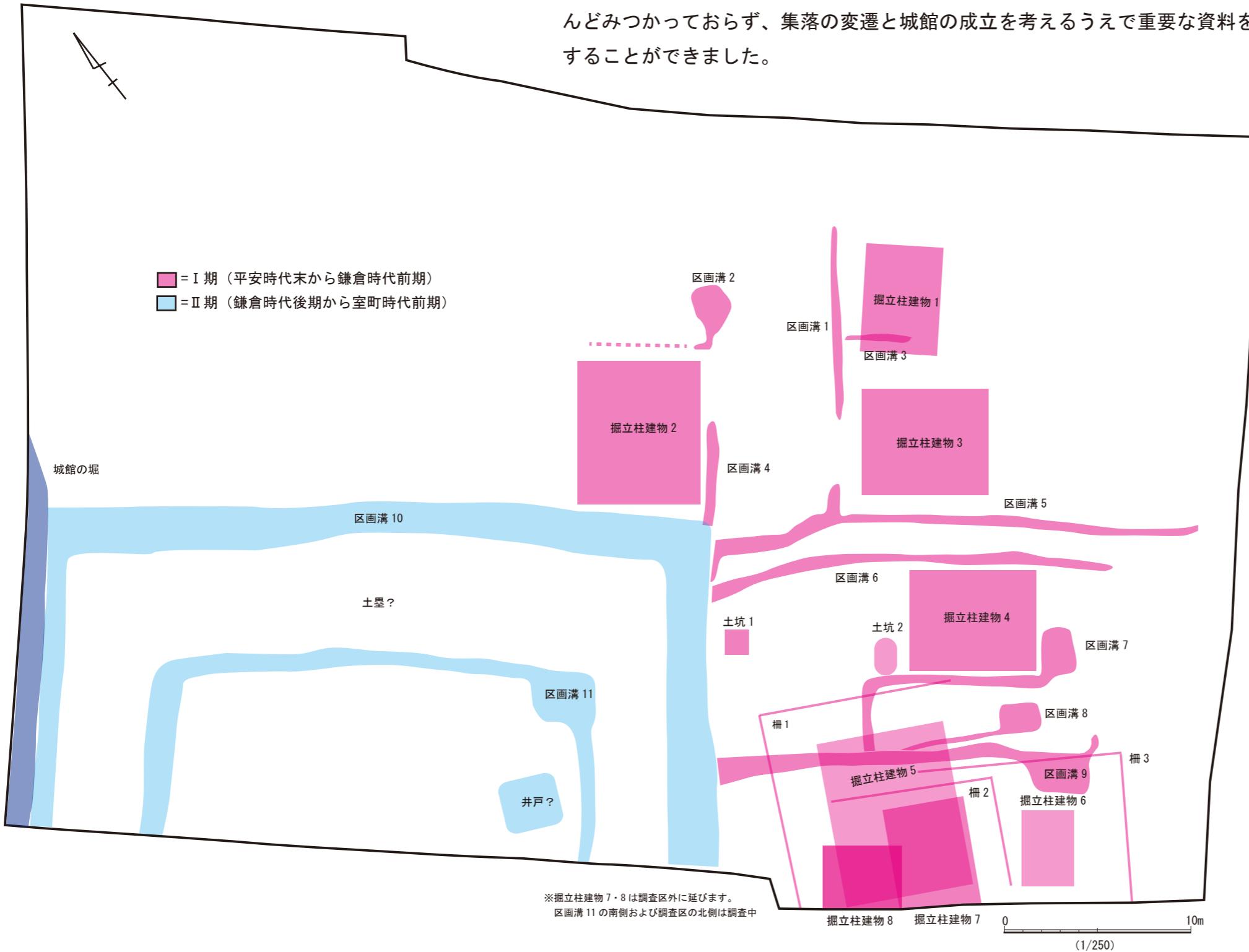
◆区画溝 10 遺物出土状況：区画溝 10 はⅡ期の屋敷地を区画する大溝で幅 2.5m、深さ 70cm を測る。東の隅から瓦器（がき）の椀と土師器の皿が折り重なるようにみつかっています。

調査の成果

今回の調査では、城館がつくられる以前の集落を確認することができたことが大きな成果です。平安時代末から室町時代前半にかけて機能していた集落で、その在り方から大きく 2 時期に分けることができます。

平安時代末から鎌倉時代前半期（Ⅰ期）は、個々の建物を小さな溝（幅 50cm 程度）で区画し、それが複数確認できます。鎌倉時代後半から室町時代前半期（Ⅱ期）は大きな溝（幅 2.5m、深さ 60cm 程度）で約 35m四方（復元）を区画し、その内部に建物を建てていたようです。

甲賀市域ではこの時代（鎌倉時代を中心とした時期）の様子がわかる集落はほとんどみつかっておらず、集落の変遷と城館の成立を考えるうえで重要な資料を提供することができました。



◆区画溝 9：3×2.5m、深さ 60cm の規模の土坑に幅 80cm、深さ 30cm の溝が取りついています（写真上）。漆器は土坑部の最下層から出土しています（写真下）。



◆掘立柱建物 3：3×3間（約 7×5m）の建物で北側に庇がついています。



◆掘立柱建物 7 柱痕遺物出土状況：柱穴から青磁の椀が出土しています。